

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

G-MASTER GCB3486WQSCP

重要



ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読
みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語



警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。VCCI-B
ただし、下記のことを守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。


- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードおよびケーブル類は付属のものを使用すること。

国際エネルギースタープログラム

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品は工場出荷時の設定で国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。工場出荷時の設定を変更または他の機能を有効にすると消費電力が増加し、国際エネルギースタープログラムの基準を超える可能性があります。

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら販売店までご連絡ください。

愛情点検 長年ご使用のモニタの点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか
	<ul style="list-style-type: none">●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。●キャビネットが異常に熱い。●煙が出たり、こげくさい臭いがする。●使用中に異常な音や振動などがある。●その他の異常や故障がある。
	ご使用を中止してください 故障や事故防止のため、電源プラグははずし、必ず販売店またはiiyamaサポートセンターにご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店またはiiyamaサポートセンターにご相談ください。

もくじ

安全にご使用いただくために.....	1
ご使用前に	6
特長.....	6
標準付属品.....	6
アーム/スタンドの使用.....	7
スタンドの取り付け/取り外し.....	9
各部のなまえ	12
コンピュータとの接続.....	13
コンピュータの設定.....	15
パネルの高さ/角度調節.....	15
操作手順.....	16
調整メニューの内容.....	17
スタンバイ機能.....	31
故障かなと思ったら.....	32
クリーニング	34
アフターサービス	35
保証書/保証期間について.....	35
修理サービス	35
リサイクル/廃棄について	35
付録.....	36
一般仕様：G-MASTER GCB3486WQSCP-B1J.....	36
外形寸法図.....	37
対応信号タイミング.....	38

本書に記載の注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障や損害は、保証期間内であってもサポート及び保証の対象外となります。

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

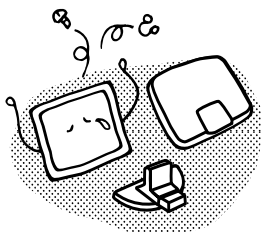
警告



プラグを
抜く

万一、異常が発生したら

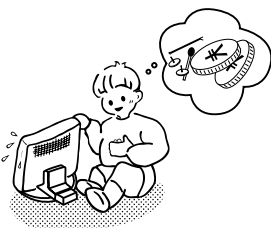
煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は販売店または iiyama サポートセンターにご依頼ください。



禁止



プラグを
抜く

異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。



禁止



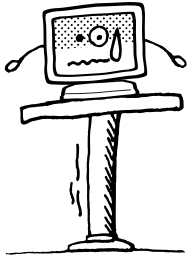
プラグを
抜く

花瓶やコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

警告



禁止

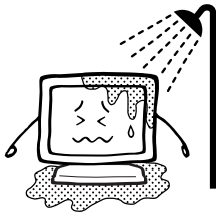
不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



プラグを
抜く

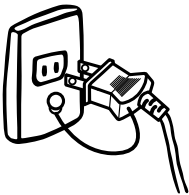
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での
使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを
接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店または iiyama サポートセンターに交換をご依頼ください。

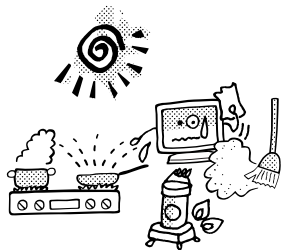


接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

注意

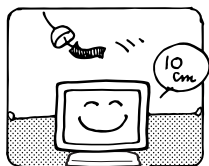


禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

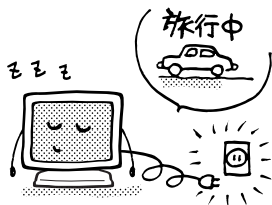
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニターは周囲から10cm以上離して置いてください。チルトスタンドを取り外して使用するときも、モニター背面の通風孔をふさがないように十分なスペースを確保してください。



指示に従う

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

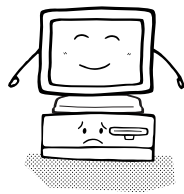
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



指示に従う

旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



指示に従う

コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

⚠ 注意



指示に従う

プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



指示に従う

手や指に注意！

ケガの原因となることがあります。

- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。
- 高さ調節の際、パネル下部とスタンドの間に手を入れているときに、モニタを勢いよく下げないでください。



指示に従う

24 時間連続使用しないで

本製品は、24 時間連続使用することを前提として設計されておきませんので、24 時間連続して使用しないでください。



指示に従う

天井や壁への取り付けはできません

本製品は、デスクトップでの使用を目的として設計されており、天吊りやウォールマウント（壁掛け）等によるデジタルサイネージ（電子看板）用途には対応していません。



指示に従う

モニタを下方向へ傾けすぎない

モニタを下方向へ調節範囲を超える角度に傾けて使用しないでください。液晶パネルが剥がれて落下し、損傷するおそれがあります。



指示に従う

モニタにアルコールや消毒薬を使用しない

モニタにアルコールや消毒薬等を直接吹き付けたり、モニタの近くで使用しないでください。また、アルコールや消毒薬等を含んだ布やシート等でモニタを拭かないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約 40 ～ 60cm はなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像（焼き付きのような症状）が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
 - ・画面の表示パターンを変える。
 - ・数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店または iiyama サポートセンターまでお問い合わせください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。

また、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

- ◆ 最大 3440 × 1440 モードをサポート
- ◆ 高コントラスト 4000:1(標準), アドバンスドコントラスト機能有 / 輝度 500cd/ m² (標準)
- ◆ 動画応答速度 (MPRT) 0.4ms
- ◆ FreeSync™ Premium テクノロジーをサポート
- ◆ HDR400 をサポート
- ◆ フリッカーフリー対応
- ◆ ブルーライト軽減機能搭載
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ USB Type-C / LAN(RJ45) コネクタ搭載
- ◆ USB Type-C パワーデリバリー (95W) 機能搭載
- ◆ 5W + 5W 出力のステレオスピーカー内蔵
- ◆ 省電力設計
スタンバイ機能搭載
- ◆ VESA マウント規格 (100mm × 100mm) 対応
- ◆ 盗難防止ロック対応

標準付属品

モニター本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

- 電源コード (AC100V 用)* ■ HDMI ケーブル ■ DisplayPort ケーブル
- USB(TypeA-B) ケーブル ■ USB(TypeC-C) ケーブル ■ スタンドネック
- スタンドベース (ネジ付き) ■ ドライバー (L 型)
- セーフティ & クイックスタートガイド / 保証書

補足

* 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。

また、次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

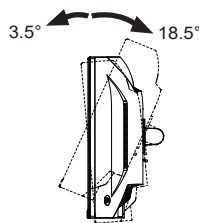
■ 付属以外の電源コードをお使いになる場合

■ 日本以外の国でお使いになる場合

サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

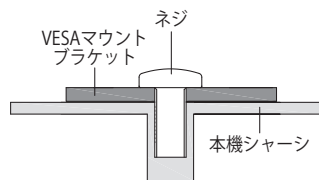
⚠ 注意

- 本製品は、デスクトップでの使用を目的として設計されており、天吊りやウォールマウント（壁掛け）等によるデジタルサイネージ（電子看板）用途には対応していません。
- 取り付けの前に、ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドが、モニターを取り付けるのに十分な強度があることを確認してください。
- モニタの角度調節範囲を上方向 18.5° 、下方向 3.5° の範囲内でご使用ください。この範囲を超えて、上向きや下向きにして使用することはできません。
- モニタを下方向へ 3.5° を超える角度に傾けて使用（設置）すると、液晶パネルが剥がれて落下し、損傷するおそれがあります。また、このような場合はサポート及び保証の対象外となります。
- 定期的にネジの締め付けを確認してください。締め付けが不十分な場合、モニターが外れ、けがや故障の原因になります。



< ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドを使用する場合 >

ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドをご使用になる場合は、VESA マウントブラケットの厚さを考慮の上、 $M4 \times 10\text{mm}$ のネジ 4 本を使ってモニターに固定し、すべてのネジがしっかりと締められていることを確認してください。これより長いネジを使用するとモニター内部の電気部品に接触し、感電または故障の原因となることがあります。本製品では、VESA マウントブラケットの厚さは約 2.5mm を想定しています。



< 画面の回転 >

■このモデルでは利用できません。



注意

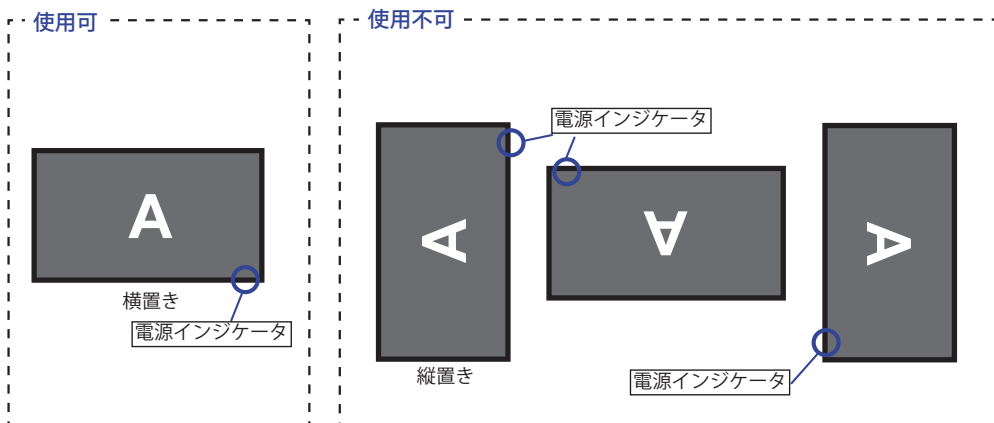
本製品の昇降スタンドには、モニタ設置時に画面の傾きを調節できるように回転機能が付いています。

ただし、本製品はあくまでも横置きでの使用を前提として設計しておりますので、本回転機能を利用して、画面を縦置きや逆さまの状態では使用しないようにしてください。

(画面を縦置きや逆さまの状態で使用された場合は、保証の対象外となります。)

またモニタの画面位置(角度、傾き、高さ等)を調節する際は、安全のために両手で調節するようにしてください。

本製品は、横置きで使用できるように設計されています。



スタンドの取り付け / 取り外し

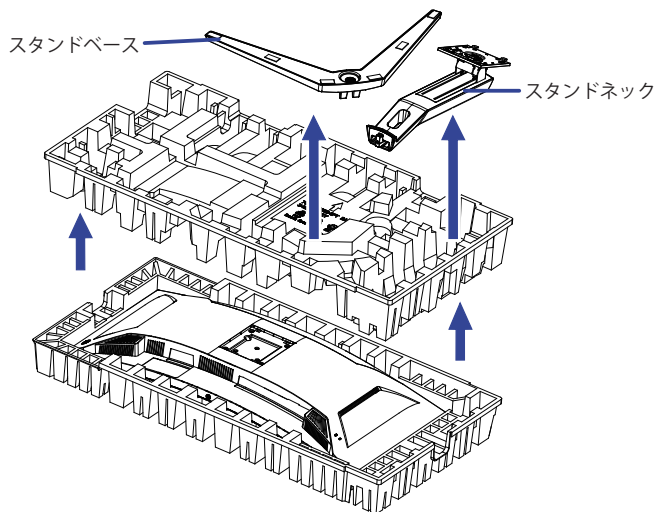


注意

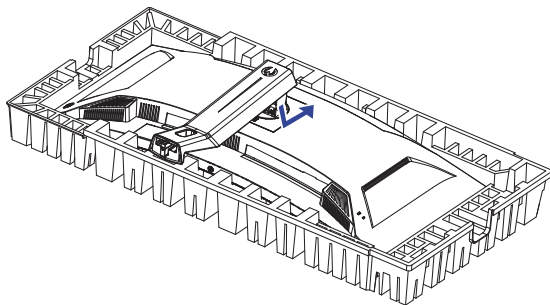
- スタンドの取り扱いは安定した台の上で行ってください。モニタが転倒・落下してけがや故障の原因となります。
- モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- スタンドの取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。
- 定期的にネジの締め付けを確認してください。締め付けが不十分な場合、モニタが外れ、けがや故障の原因になります。

< 取り付け >

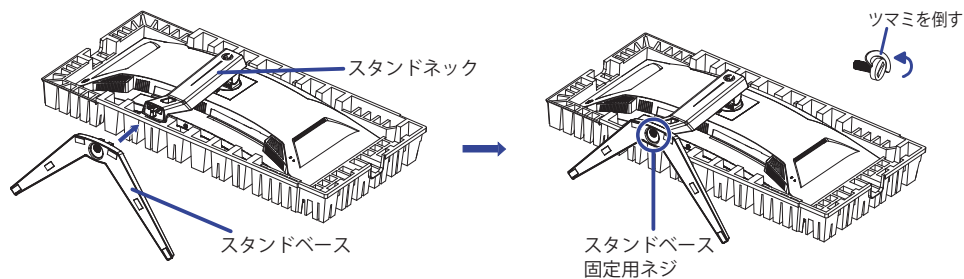
- ① 下図のように、箱から内容物をすべて取り出し、平らで安定した台の上にモニタの画面を下にして置きます。
- ② リアクッション、スタンドネック、スタンドベースを取り出します。



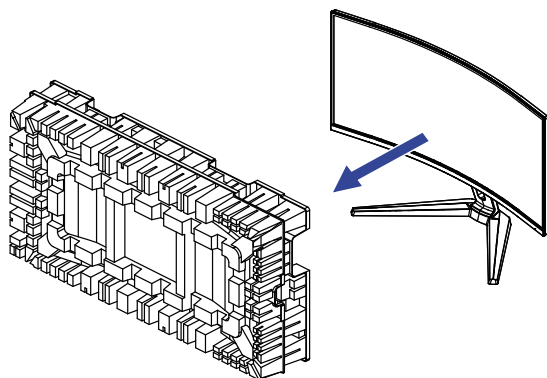
- ③ モニタを押さえてスタンドネックをモニタの背面に取り付けます。カチッと音がすると固定されます。



- ④ スタンドベースをスタンドネックに取り付け、付属のドライバーを使ってネジを締めて固定し、ネジのツマミを倒します。

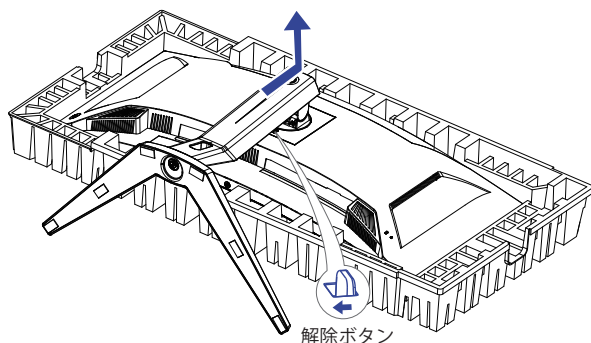


- ⑤ モニタを立てて、フロントクッションを取り外します。



< 取り外し >

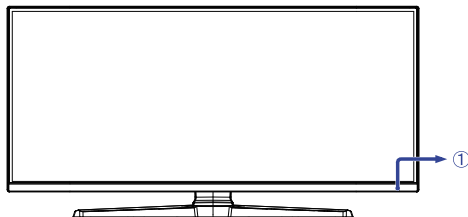
- ① 平らで安定した台の上に前面クッションを置き、モニタの画面を下にして置きます。
- ② 解除ボタンを図のような方向へ押しながら、モニタからスタンドを取り外します。



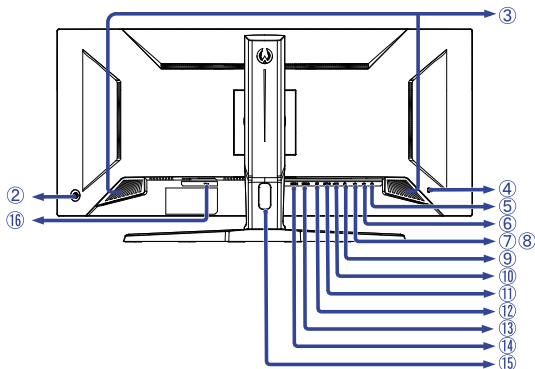
- ③ 付属のドライバーを使ってスタンドベース底面のネジを緩め、スタンドネックからスタンドベースを取り外します。

各部のなまえ

前面



後面



① 電源インジケータ

補足 青色点灯：通常動作時
橙色点灯：スタンバイモード

② ジョイスティック (⌵)

- 電源 / メニュー [中央]

補足 軽く押すと、モニタがオンになります。
6秒長押しすると、モニタがオフになります。

- 上 / 入力選択 [⇩]

- 下 [⇧]

- 左 / i-Style Color / ナイトモード / Blue Light Reducer [⇨] *³

- 右 / 音量調整 [⇩] *³

③ スピーカー

④ 盗難防止ロック用ホール

補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

⑤ ヘッドホンコネクタ (🎧)

補足 ヘッドホン以外の外部機器への接続はサポートしていません。

⑥ USB Type C DOWN コネクタ (🔌 USB3,2 Gen 1: 5Gbps, 5V, 2A) *¹

⑦⑧ USB Type A DOWN コネクタ (🔌 USB3,2 Gen 1: 5Gbps, 5V, 900mA) *¹

⑨ LAN(RJ45) コネクタ (📶)

⑩ USB Type B UP コネクタ (🔌 USB3.2 Gen 1: 5Gbps) *²

⑪ USB Type C Upstream Connector (USB C) (USB3.2 Gen 1: 5Gbps, 5V/3A, 9V/3A, 10V/3A, 12V/3A, 15V/3A, 20V/4.75A)

⑫ DisplayPort コネクタ (DP)

⑬ HDMI コネクタ (HDMI 2)

⑭ HDMI コネクタ (HDMI 1)

⑮ ケーブルホルダー

⑯ 電源コード接続コネクタ (～: 交流)

*¹ USB 対応のマウスやキーボードなど周辺機器からのケーブルを接続します。

*² 付属の USB ケーブルで USB 対応コンピュータと接続します。

*³ 画面を正面から見たときの方向



警告

■ 安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



注意

■ アースリードをコンセントに挿入、接触させないでください。火災や感電の原因となります。

■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニターやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

■ 付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。

■ USB Type-C ケーブルの抜き差しは、プラグをコネクタに対してまっすぐに差し込み、まっすぐに引き抜くようにしてください。プラグを斜めに抜き差しすると、コネクタ内部のピンが損傷するおそれがあります。

- ① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
- ② DisplayPort ケーブルを、モニターとコンピュータに接続します。
- ③ HDMI 接続ができる AV 機器を使用する場合は、HDMI ケーブルをモニターと AV 機器に接続します。
- ④ USB Type-C UP コネクタ (USB C) 経由でモニターに画像を映したり、モニターの USB ハブ機能を使用する場合は、USB ケーブル (Type-C-C) を、モニターとコンピュータに接続します。*
外付けの大容量 HDD を使用する場合は外部電源が必要です。必ず電源に接続してください。
- ⑤ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
- ⑥ モニタおよびコンピュータの電源を「ON」にします。

* ・ 接続機器を USB Type-C UP コネクタ (USB C) 経由で充電する場合は、接続機器に、USB PD (Power Delivery) に対応した USB Type-C コネクタが装備されていることを確認してください。

・ USB 供給電力は、最大 95W です。接続機器の動作時または起動時に 95W を超える電力が必要な場合は、その機器に付属している電源アダプタを使用してください。

・ 付属品以外の USB Type-C ケーブルをご使用になる場合は、USB-IF 認証品であり、電力供給と映像 / 音声 / データ転送機能すべてが備わっていることを確認してください。

・ モニタがスタンバイモードのとき、下記の場面で画像が自動的に表示されないことがあります。

1. コンピュータの最初の起動時

2. コンピュータがスタンバイモードから復帰するとき

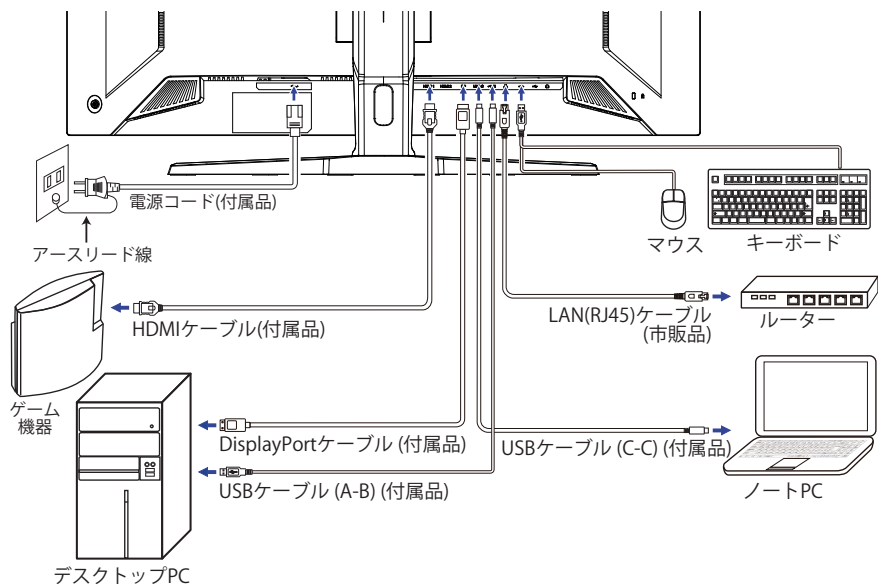
これは、スタンバイモード時の消費電力を最小限に抑えるための正常な動作です。ジョイスティック [中央] を押すと、画像が表示されます。

この動作を回避するには、OSD メニューの「USB Charge」機能をオンにしてください。

・ USB ケーブル (Type-A-C) をご使用になる場合は、データ転送のみ可能です。また、USB ケーブル (Type-A-C) は本製品には含まれておりません。

・ ユーザー環境が異なるため、すべての接続機器との互換性が保証されるわけではありません。

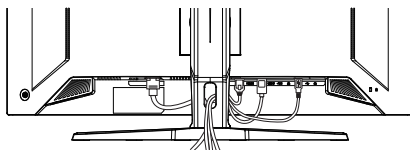
<後面>



本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。必ずルーター等を経由し接続してください。

■ [ケーブルをまとめる]

ケーブル類をケーブルホールを通して、図のようにまとめます。



コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度（P.38「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

パネルの高さ / 角度調節

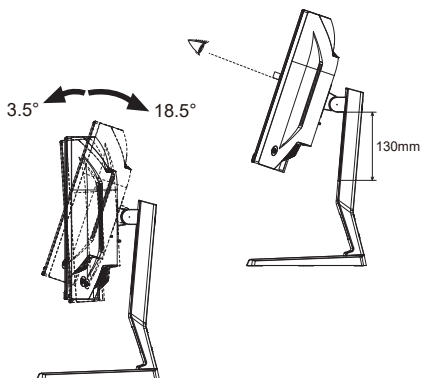


注意

- 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。
- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。
- 高さ調節の際、パネル下部とスタンドの間に手を入れているときに、モニタを勢い良く下げないでください。ケガの原因となることがあります。



- 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。高さや傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。
- 高さ調節や角度調節の際は、パネルの左右を持って行ってください。
- 高さ調節範囲は 130mm、角度調節範囲は上方向 18.5°、下方向 3.5° です。



操作手順

P.38の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作をおこなってください。

オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

- ① ジョイスティック [中央] を押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを表示します。



- ② ジョイスティックを左右 [⇐ / ⇒] に傾けてメインメニューを選択し、ジョイスティック [中央] を押します。
- ③ ジョイスティックを上下 [⇑ / ⇓] に傾けて目的のサブメニューを選択し、ジョイスティック [中央] を押します。
- ④ 再びジョイスティックを左右 [⇐ / ⇒] に傾けて調整または設定をおこない、ジョイスティック [中央] を押します。
- ⑤ ジョイスティックを左 [⇐] に傾けて終了します。
OSD が消えると調整や設定の内容を自動的に記憶します。

例えば OSD の垂直位置を調整したいときは、まずメインメニューの「設定メニュー」を選択し、ジョイスティック [中央] を押します。次にジョイスティックを上下 [⇑ / ⇓] に傾けてサブメニューの「垂直位置」を選択し、ジョイスティック [中央] を押します。スケールの色が変わりますので、ジョイスティックを左右 [⇐ / ⇒] に傾けてお好みの画面に調整します。

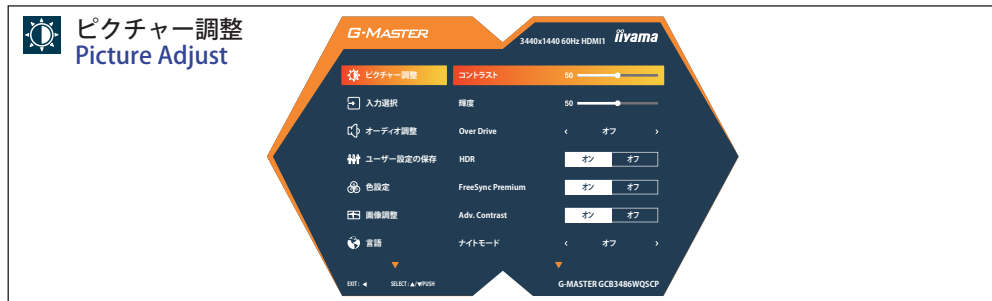




ジョイスティック [中央] を押してから最後に左 [⇐] に傾けて終了し、設定を記憶させます。

- 補足**
- 調整中にボタン操作を中止すると、「OSD タイムアウト」のオフタイマー設定時間後にオンスクリーン表示が消えます。また、ジョイスティックを左 [⇐] に傾けて、即時にオンスクリーン表示を消すことができます。
 - オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源をオフにしないでください。
 - 調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

調整メニューの内容

言語 (Language) で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。
一部のメニュー項目を変更すると、他の調整や設定に影響する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
コントラスト Contrast	弱すぎる 強すぎる	   
輝度 *1 Brightness	暗すぎる 明るすぎる	   
Over Drive *2 Overdrive	オフ / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 液晶パネルのグレーレベル応答速度を改善します。 レベル (数字) が上がると応答速度が速くなります。	  
HDR HDR	オン	HDR (ハイダイナミックレンジ) 信号
	オフ	通常信号
FreeSync Premium FreeSync Premium	オン	FreeSync Premium をオンにします。
	オフ	FreeSync Premium をオフにします。
Adv. Contrast Adv. Contrast	オン	コントラスト比を改善します。
	オフ	標準
ナイトモード Night Mode	オフ	標準
	Mode 1	バックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。
	Mode 2	Mode 1 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。
	Mode 3	Mode 2 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。
Blue Light Reducer Blue Light Reducer	オフ	標準
	Mode 1	ブルーライトを軽減します。
	Mode 2	ブルーライトを Mode 1 より軽減します。
	Mode 3	ブルーライトを Mode 2 より軽減します。
Motion Blur Reduction Motion Blur Reduction	オフ / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 液晶パネルの動画応答速度を改善します。レベルが高いほど、応答時間が早くなります。リフレッシュレートが 100Hz 以上の場合のみ使用できます。	  
Gamma Gamma	1.8	ハイコントラスト
	2.2	ノーマル
	2.6	ダーク

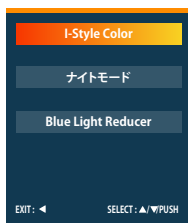
*1 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度を調整してください。

*2 ダイレクトドライブモードがアクティブでない場合は無効になります。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次の操作で直接設定画面に入ることができます。

- ナイトモード：メニュー画面を表示していないときに、ジョイスティックを左 [⇐] へ傾けます。
- Blue Light Reducer：メニュー画面を表示していないときに、ジョイスティックを左 [⇐] へ傾けます。



入力選択 Input Select

ダイレクト調整

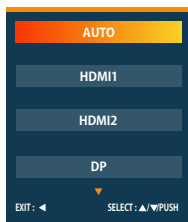


調整項目	画面の状態		
入力選択 Input Select	自動	自動的に利用可能な入力ソースを検索し、選択します。	
	手動	HDMI1	映像入力をデジタル入力 (HDMI1) に切り替えます。
		HDMI2	映像入力をデジタル入力 (HDMI2) に切り替えます。
		DP	映像入力をデジタル入力 (DisplayPort) に切り替えます。
		USB C	映像入力をデジタル入力 (USB C) に切り替えます。
<p>補足 「自動」は、入力されている信号のうちどれか 1 種類を自動的に選択します。HDMI、DP または USB C のどれかが「手動」で選択されているときは、その入力信号が優先され、「自動」は無効になります。</p>			

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次の操作で直接設定画面に入ることができます。

- 入力選択：メニュー画面を表示していないときに、ジョイスティックを上 [↑] へ傾けます。



オーディオ調整 Audio Settings

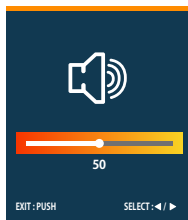


調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
音量調整 Volume	ダイレクト調整	音量が小さい 音量が大きい
ミュート Mute	オン	一時的に音を消します。
	オフ	元の音量に戻します。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次の操作で直接調整画面に入ることができます。

- 音量調整：メニュー画面を表示していないときに、ジョイスティックを右 [⇨] へ傾けます。





ユーザー設定の保存 Store User Setting



















調整項目	画面の状態	
ユーザーモード User Modes	ユーザーモード 1	画面調整の設定をユーザーモード 1 に保存します。
	ユーザーモード 2	画面調整の設定をユーザーモード 2 に保存します。
	ユーザーモード 3	画面調整の設定をユーザーモード 3 に保存します。
補足	<p>調整した内容をユーザーモードへ保存することができます。これらの設定は、「画像調整」の「i-Style Color」メニューから呼び出すことができます。</p> <p>保存できる調整項目： コントラスト、輝度、Over Drive、Adv. Contrast、ナイトモード、Motion Blur Redution、Gamma、音量調整、ミュート、色設定、シャープネス、画面モードの調整</p>	



色設定* Color Settings



調整項目	画面の状態 / 調整ボタン		
6-カラー 6-Axis	色あい	赤 黄 緑 シアン 青 マゼンタ	弱すぎる 強すぎる    
	彩度	赤 黄 緑 シアン 青 マゼンタ	弱すぎる 強すぎる    
色温度 Color Temperature	クール	寒色	
	ノーマル	標準	
	ウォーム	暖色	
ユーザープリセット User Preset	赤	弱すぎる	 
	緑	強すぎる	 
	青		
黒レベル調整 Black Tuner	-5 ~ +5 (暗い→明るい) まで設定されています。 画面の暗い箇所の色合いを調整することができます。		   

* Blue Light Reducer または HDR を有効にしているときは選択できません。



調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
i-Style Color i-Style Color ダイレクト調整	オフ	i-Style Color をオフにします。
	標準 * ¹	標準
	スポーツゲーム * ¹	スポーツゲームをするときなどに最適です。
	シューティングゲーム * ¹	シューティングゲームをするときなどに最適です。
	シミュレーションゲーム * ¹	シミュレーションゲームをするときなどに最適です。
	テキスト * ¹	文章を作成するときなどに最適です。
	ユーザーモード 1	ユーザーモード 1 の設定を適用します。
	ユーザーモード 2	ユーザーモード 2 の設定を適用します。
	ユーザーモード 3	ユーザーモード 3 の設定を適用します。
X-res Technology* ¹ X-Res Technology	オフ	標準
	ソフト	映像の輪郭を強調します。
	ミドル	ソフトより映像の輪郭を更に強調します。
	ハード	ミドルより映像の輪郭を更に強調します。
シャープネス Sharpness	1 2 3 4 5 6 1～6 (シャープ→ソフト) まで設定されています。 ジョイスティックを右 [⇨] に傾けて押すと昇順に移動し、 ジョイスティックを左 [⇦] に傾けてと降順に移動します。	
HDMI レンジ * ² HDMI Range	フル	フルレンジカラスケール信号用
	リミテッド	制限されたカラスケール信号用
ダイレクトドライブ モード * ³ Direct Drive Mode	オン	入力に対する表示のタイムラグを短縮
	オフ	標準
補足	解像度やリフレッシュレートを変更したり、電源をオフ/オンしたりするとダイレクトドライブ機能が無効になることがあります。	



調整項目	画面の状態	
画面モードの調整 Video Mode Adjust	フル	全画面表示
	アスペクト	アスペクト比に拡大表示
	ドットバイドット* ³	ドットバイドット表示
	17 inch* ³	17 インチの画面として表示 (5 : 4)
	19 inch* ³	19 インチの画面として表示 (5 : 4)
	19.5 inch* ³	19.5 インチの画面として表示 (16 : 9)
	21.5 inch* ³	21.5 インチの画面として表示 (16 : 9)
	23 inch* ³	23 インチの画面として表示 (16 : 9)
	23.6 inch* ³	23.6 インチの画面として表示 (16 : 9)
	23.8 inch* ³	23.8 インチの画面として表示 (16 : 9)
	24 inch* ³	24 インチの画面として表示 (16 : 9)
	24.5 inch* ³	24.5 インチの画面として表示 (16 : 9)
	27 inch* ³	27 インチの画面として表示 (16 : 9)

*¹ HDR をオンにしているときは選択できません。

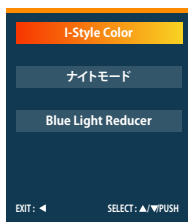
*² HDMI 入力のみ。

*³ 有効中の機能により、調整 / 設定できる機能が異なります。詳細は、P.30 「調整機能対応表」をご覧ください。

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接設定画面に入ることができます。

● i-Style Color : メニュー画面を表示していないときに、ジョイスティックを左 [◀] へ傾けます。





言語 Language



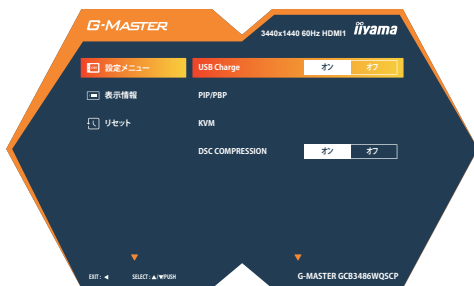
調整項目	画面の状態			
言語 Language	English	英語表示	Deutsch	ドイツ語表示
	Español	スペイン語表示	Français	フランス語表示
	Italiano	イタリア語表示	日本語	日本語表示
	Nederlands	オランダ語表示	Polski	ポーランド語表示
	Русский	ロシア語表示	Česky	チェコ語表示

OSD 設定メニュー
Setup Menu



調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
水平位置 OSD Horizontal Position	OSD が左によっている OSD が右によっている	
垂直位置 OSD Vertical Position	OSD が下によっている OSD が上によっている	
OSD タイムアウト OSD Time	5～30 秒までの間で OSD のオフタイマーを設定します。	
Opening Logo Opening Logo	オン	電源を入れたときに、G-MASTER ロゴを表示します。
	オフ	電源を入れたときに、G-MASTER ロゴを表示しません。
Power LED Power LED	オン	電源インジケータが点灯します。
	オフ	電源インジケータが消灯します。
補足 電源インジケータの光が気になる場合にご使用ください。		
USB C Speed USB C Speed	USB 2.0	USB Type-C 経由で接続する場合、データ転送速度を選択します。
	USB 3.0	
補足 USB Type-C 入力で USB 3.0 を選択した場合、240Hz での 3440 × 1440 はサポートされません。		
DDC/CI Control DDC/CI Control	オン	DDC/CI をオンにします。
	オフ	DDC/CI をオフにします。
USB Charge USB Charge	オン	モニタがスタンバイモードでも USB 機器の充電はできます。
	オフ	モニタがスタンバイモードのときは USB 機器の充電はできません。
補足 モニタの電源をオフにすると、本機能をオンにしても USB 機器は充電できません。本機能がオフの場合、待機電力を節約するため、モニタがスタンバイモードでも USB 機器は動作しません。USB 機器を操作する場合は、この機能をオンにしてください。		

OSD 設定メニュー
Setup Menu



調整項目	画面の状態 / 調整ボタン		
PIP/PBP* ¹ PIP/PBP	オフ	PIP/PbP をオフにします。	
	PiP	2つの異なる画像をメイン画面とサブ画面それぞれに表示することができます。	
	PbP LR	2つの異なる画像を左右に並べて表示することができます。	
	Sub Source* ²	HDMI1	映像入力をデジタル入力 (HDMI1) に切り替えます。
		HDMI2	映像入力をデジタル入力 (HDMI2) に切り替えます。
		DP	映像入力をデジタル入力 (DisplayPort) に切り替えます。
		USB C	映像入力をデジタル入力 (USB C) に切り替えます。
	PiP Position* ³	Top-Right	サブ画面を右上へ移動します。
		Top-Left	サブ画面を左上へ移動します。
		Bottom-Right	サブ画面を右下へ移動します。
		Bottom-Left	サブ画面を左下へ移動します。
	PiP Size* ³	Small	サブ画面のサイズを小さくします。
Middle		標準	
Large		サブ画面のサイズを大きくします。	
Swap* ²	いいえ	元の画面に戻します。	
	はい	PIP/PBP が有効な時、メイン画面とサブ画面を入れ替えます。	
KVM KVM	HDMI	USB-B	モニタに2台または3台のコンピュータが接続されている場合は、入力ソースをUSBアップストリームコネクタにリンクできます。
		USB-C	
	DP	USB-B	
		USB-C	
	USB C	USB-B	
		USB-C	
DSC Compression* ^{4,5} DSC Compression	オン	3440 × 1440、240Hz の 8 ビットカラーディスプレイを有効にします。	
	オフ	DSC 機能をオフにします。	

*¹ PiP = ピクチャーインピクチャー、この機能を使用すると2つの異なる画像を表示できます。
PbP = ピクチャーバイピクチャー、この機能を使用すると最大2つの異なる画像を表示できます。
*² "PiP" または "PbPLR" モードで利用可能。
*³ "PiP" モードのみ利用可能。
*⁴ DisplayPort または USB Type-C 入力でのみ使用できます。
*⁵ DSC = Display Stream Compression (ディスプレイストリーム圧縮)



表示情報 Display Information



コンピュータのグラフィックカードから入ってくる現在の入力信号関連の情報を表示します。

補足 解像度とリフレッシュ速度の変更に関する詳細については、グラフィックカードのユーザーガイドをご覧ください。



リセット Reset



調整項目

画面の状態

全設定リセット?
Recall All?

工場出荷設定に戻します。

■ ロック機能

<OSD>

メニュー画面を表示していない時に、ジョイスティックを \curvearrowright へ約 6 秒間傾け続けて、ロックとロック解除を行います。

<電源>

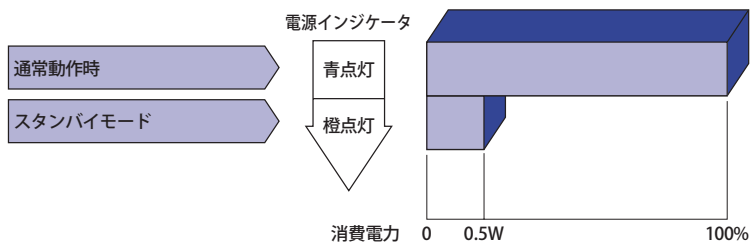
メニュー画面を表示していない時に、ジョイスティックを \curvearrowright へ約 6 秒間傾け続けて、ロックとロック解除を行います。

スタンバイ機能

本製品のスタンバイ機能は、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能は次のモードを備えており、モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ スタンバイモード

コンピュータからのビデオ信号が OFF 状態になるとスタンバイモード（消費電力 0.5W 以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

症状

チェックポイント

- ① 映像が出ない
(電源インジケータ点灯せず)
- 電源コードが確実に接続されていますか？
 電源スイッチが「ON」されていますか？
 電源コンセントに電気がきていますか？別の機器で確認してください。
- (電源インジケータ青色)
- ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。
 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？
 コンピュータの電源は入っていますか？
 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
 コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- (電源インジケータ橙色)
- スタンバイモード状態ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。
 コンピュータの電源は入っていますか？
 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
 コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ② 画面が乱れている
- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
 コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ③ 画面の位置が片寄っている
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- ④ 画面が明るすぎる
／暗すぎる
- コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？



⑤ 画面が揺れる



- 電源電圧は正常ですか？
タコ足配線はやめてください。
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

⑥ 外部出力先の音が出ない

- オーディオ機器（コンピュータ等）の電源は入っていますか？
- オーディオケーブルが確実に接続されていますか？
- 音量調整が最小になっていませんか？
- Mute（消音）になっていませんか？
- オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

⑦ 音が大きい／小さい

- オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

クリーニング

警告 ■ 万一、モニター内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

■ 安全のため、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

注意 ■ モニタにアルコールや消毒薬等を直接吹き付けたり、モニタの近くで使用しないでください。また、アルコールや消毒薬等を含んだ布やシート等でモニタを拭かないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

■ モニタ（液晶パネル / キャビネット / コネクタ端子）や付属品を傷めないために、次の溶剤やクリーニングシート等は使用しないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤、過酸化剤、アセトン、塩化メチレン、トルエン、アンモニア、次亜塩素酸ナトリウム水溶液（塩素系漂白剤）、次亜塩素酸水、酸性 / アルカリ性の溶剤、ワックス、研磨剤、OA クリーナー、ガラスクリーナー、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、化学ぞうきん、クリーニングペーパー等



補足 ■ 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■ 液晶パネルに水滴等をつけたまま放置しないでください。水滴等がついた場合はすぐに乾いた柔らかい布で拭きとってください。放置すると液晶パネルの変色や染みの原因になります。また、水分が内部に入ると故障の原因になります。

■ キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● **通常のお手入れ** 柔らかい清潔な布でやさしく乾拭きしてください。
汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に浸してから固く絞った布で汚れを拭きとり、素早く乾いた柔らかい布で拭いてください。

● **アルコール消毒について** アルコール消毒は、キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。ご使用の前後に、モニターから離れた場所で手指消毒をするなどしてご対応ください。

やむを得ずモニターをアルコール消毒する場合は、上記の警告・注意事項について、あらかじめご了承ください。また、頻繁なアルコール消毒は避けてください。

アフターサービス

保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限はお買い上げ日より3年間です。
尚、本製品を「ディスプレイ延長保証のお申込み」サイトからご登録頂くことで、保証期間を5年かつ製品使用時間 30,000 時間以内に延長いたします。
詳しくはサポートサイト：<https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support.aspx> をご覧ください。
ただし、保証期間内でも有料修理とさせていただきます場合があります。詳しくは、付属のセーフティ & クイックスタートガイドの<保証条件>をご確認ください。

修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず iiyama サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後5年間保有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に5年間保有することができない場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、補修用性能部品の5年間の保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターにご相談ください。
- 修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承ください。

リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。
- 製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 本製品を一般家庭でご使用の場合は、弊社が業務委託しているリネットジャパン株式会社にて無償で回収・再資源化いたします。ただし、本製品を事業所でご使用の場合は、対象外となります。
- リサイクル／廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧ください。iiyama サポートセンター リサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル／廃棄についてのお問い合わせ

iiyama サポートセンター リサイクル受付

TEL 03-6636-4312



このマークが表示されている弊社製品は、弊社が業務委託しているリネットジャパン株式会社にて無償で回収・再資源化いたします。

詳細は弊社ホームページをご参照ください。

URL: <https://www.mouse-jp.co.jp/store/brand/iiyama/>

付録

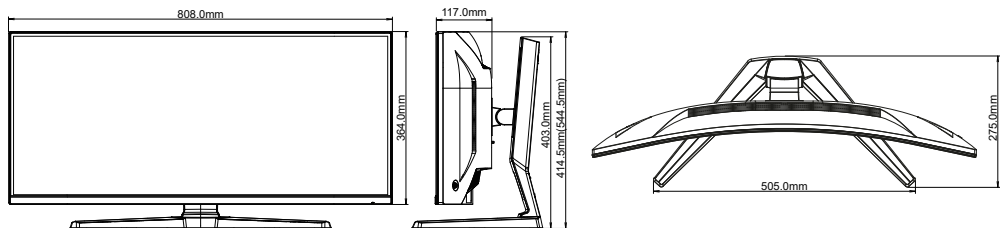
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様：G-MASTER GCB3486WQSCP-B1J

サイズカテゴリ	34 型	
液晶 パネル	パネル方式	VA 方式パネル
	サイズ	対角 86.4cm (34 型)
	曲率	1500R
	画素ピッチ	水平 0.23175mm × 垂直 0.23175mm
	輝度	500cd/m ² (標準)
	コントラスト比	4000 : 1 (標準)、Adv. Contrast 機能有
	視野角	左右各 89° 上下各 89° (標準)
	MPRT	0.4ms
最大表示色	約 1,677 万色	
走査周波数	HDMI : 水平 : 24.0 ~ 360.0kHz 垂直 : 48.0 ~ 240.0Hz DisplayPort : 水平 : 24.0 ~ 360.0kHz 垂直 : 48.0 ~ 240.0Hz USB Type-C : 水平 : 360.0kHz 垂直 : 48.0 ~ 240.0Hz	
解像度	3440 × 1440 (最大)、4.9MegaPixels	
サポートされている 最大解像度	HDMI : 2560 × 1440 240 Hz, 3440 × 1440 240Hz DisplayPort / USB Type-C : : 3440 × 1440 240Hz	
信号入力コネクタ	HDMI × 2, DisplayPort × 1	
入力映像信号	HDMI, DisplayPort	
USB 規格	USB3.2 Gen 1 (5Gbps, DC5V, 900mA), USB Type-C パワーデリバリー (95W)	
USB 内蔵ポート コネクタ形状	2 Up stream : Type B × 1, Type C × 1 3 Down stream : Type A × 2, Type C × 1	
LAN ポート	RJ45	
ヘッドホンコネクタ *	ø3.5mm ステレオミニジャック	
スピーカー	5W × 2 (アンプ付きステレオスピーカー)	
最大表示範囲	水平 : 797.22mm 垂直 : 333.72mm	
入力電源	AC100 ~ 240V 50/60Hz 2A	
消費電力	52W (標準)、 スタンバイモード時 : 0.5W (最大)、オフモード時 : 0.3W (最大)	
外形寸法	808.0 (幅) × 414.5 ~ 544.5 (高) × 275.0 (奥行) mm	
重量	8.05kg	
高さ調節範囲	130mm	
角度調節範囲	チルト 上方向 : 18.5° 下方向 : 3.5°	
環境条件	動作時 : 温度 5 ~ 35°C 湿度 10 ~ 90% (結露なきこと) 保管時 : 温度 - 20 ~ 60°C 湿度 10 ~ 90% (結露なきこと)	
適合規格	TÜV, VCCI, PSE, 国際エネルギースタープログラム, グリーン購入法	

補足 * ヘッドホン以外の外部機器への接続はサポートしていません。

外形寸法図



() : 高さ調節最大時

対応信号タイミング

ビデオモード	水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
800 × 600	37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
	46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz
1024 × 768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
	60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz
1280 × 1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz
	79.976kHz	75.025Hz	135.000MHz
1920 × 1080	67.500kHz	60.000Hz	148.500MHz
	135.000kHz	120.000Hz	497.760MHz
	270.000kHz	240.000Hzs	594.000MHz
2560 × 1440	88.890kHz	60.018Hz	241.770MHz
	183.000kHz	120.000Hz	497.800MHz
	355.441kHz	240.001Hz	966.800MHz
3440 × 1440	88.859kHz	59.999Hz	319.890Mhz
	148.100kHz	100.000Hz	533.160MHz
	180.000kHz	120.000Hz	676.000MHz
	356.400kHz	240.000Hz	1283.040MHz

*

補足 *グラフィック カードの出力は DSC テクノロジーをサポートしている必要があり、OSD メニューの「DSC Compression」もオンになっている必要があります。

Console	1080p (1920 × 1080)	1440p (2560 × 1440)	2160p (3840 × 2160)
PS5	60 / 120Hz	60 / 120Hz	60Hz
Xbox Series X/S	60 / 120Hz	60 / 120Hz	60Hz *

*Xbox シリーズ X のみ。

お客様の個人情報の管理および利用について

当社は、お客様の個人情報について、「個人情報の保護に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に準拠し、取り扱いを定めて、適切に管理、利用いたします。

当社が定める「個人情報保護方針」は、下記 URL からご確認ください。

URL <https://www.mouse-jp.co.jp/store/privacy/privacy.aspx>

株式会社マウスコンピューター

- 製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ

iiyama サポートセンター

24 時間 365 日サポート対応

TEL 03-6636-4312

FAX 03-6636-4341

特定化学物質の含有情報は下記の弊社ホームページに記載しています。

URL: <https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support/jmos.aspx>

サポートの最新情報（連絡先等）は弊社ホームページに記載しています。
お問い合わせの前に、ホームページにてご確認ください。

URL: <https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support.aspx>